

# 聾学校地域支援だより

## 「私はこんな工夫をしているよ！」

前号でお知らせした「難聴あるある」のエピソードが集まりました。日常生活を送っている中で、「みんなに知って欲しいなあ……」と思っていることや、「学校でこんな工夫をしているよ！」と紹介したいことを皆さんから教えてもらい、指導教室の壁面に掲示しています。今回は、掲示してあるエピソードの中から1つご紹介します♪



### 職場体験で…

中学2年生のAさんは、病院で職場体験をすることになりました。職場体験は今までの行事と異なり、先生の引率はありません。また、学校以外で聞こえの配慮を、自分からお願いしたこともなかったので、配慮をしてもらえるか初めは不安だったそうです。そこでまず、Aさんは職場体験の担当の先生に相談をしました。担当の先生は「自分で職場の担当者をお願いをするのが一番良いと思うよ。」と、背中を押してくれたそうです。

「自分のしてもらいたいことを伝えなければ、相手には伝わらない」と気づいたAさんは、勇気を出して、自分で職場の担当者の方に、自分に必要な配慮のお願いとマイク（補聴援助システム）の説明をしました。



- 私にはマイクが必要です！
- マイクはドア越しでも距離が近いと音が聞こえてしまいます。
- マイクにはミュート機能があります。



### 職場体験当日、看護師さんたちは…

- ① マイクをまわして説明してくれた。
- ② ゆっくりと大きい声で、Aさんにとって聞きやすい話し方を心がけてくれた。
- ③ 定期的にAさんが聞き取れているか気にしてくれた。

など、とても聞きやすい環境を調べてくれました。Aさんも、仕事をすすんでできました！



Aさんは、職場体験を通して、仕事の楽しさとともに、自分の力で相手に理解してもらう大切さを学ぶことができたそうです。

Aさん直筆のかわいいイラストつきで、体験や感想を書いてくれました。指導教室の壁面に掲示してあるので、聾学校に来たときに、ぜひ読んでください。

壁面掲示の近くにコメント用紙を用意したので、聾学校に来たときにみんなのあるあるや工夫したことを読んだ感想を書いてください♪



# 補聴器・人工内耳クイズ②

## 第1問

【人工内耳】

音が出ない・小さい時、すぐに考えられる原因は「充電電池の残量不足」と「スピーチプロセッサの不調」、あともう一つは何でしょうか。



## 第2問

【補聴器】

冬は汗をかくことが少ないので、汗カバーは必要ない。○か×か。



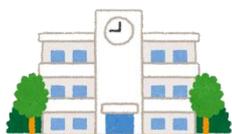
スピーチプロセッサ



充電電池

# 聴覚障害理解のための授業を行いました

今年度も聴覚障害理解のための授業（難聴理解授業）を、行いました。内容や授業形態を紹介します。



A 小学校

難聴学級や地域の通級を利用しているお子さんの学校へ伺いました。授業内容や授業の資料は、難聴学級の担任の先生や自校通級の担当の先生とお子さんが一緒に考えて行いました。聾学校の職員は、お子さんの困り感に合わせた難聴の特性のお話や、補聴器体験のお手伝いをしました。



B 小学校

本校の通級を利用しているお子さんの学校へ伺いました。通級の時間に、今自分が困っていることやクラスみんなに知って欲しいことを考え、わかりやすく伝えるための工夫を考えながらスライドを作成しました。在籍校の担任の先生と事前の打ち合わせをさせていただき、学年の実態や授業の内容を確認しました。



C 小学校

難聴児が在籍していない学校へ伺いました。4年生の総合の授業（福祉分野の学習）と関連して、聴覚障害を理解するための授業をしました。

～こんなことを伝えました～



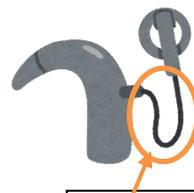
テニスボールがとれると、いすやつくえを動かすときに、「ガタガタッ」と音が出てしまいます。つけたままにしてください。

聞こえないときに肩をたたいて教えてくれてうれしかったです。ありがとうございます。



# 補聴器・人工内耳クイズの答え

第1問の答え：「コードの断線」…衝撃などによって、コードの内部が断線していることがあります。断線したときのために、コードの予備を持っている人もいます。人工内耳の不調を感じたら、そのままにせず医療機関で確認をしてもらいましょう。



コード

第2問の答え：「×」…冬は、気温差によって結露がおこります。結露の水分から補聴器をまもるために汗カバーは有効です。また、チューブの中にも水分がたまってしまうこともあるので、定期的に拭き取るなどのお手入れも必要ですね。